

全農協労連女性部・春闘アピール

全国のなかまに呼びかけます！

2017年春闘が始まりました。

私たちの雇用や生活をかけた大事なたたかいとなる2017年春闘です。

第二次安倍政権は、「戦後レジームからの脱却」とし、戦後民主主義で発展した協同組合を否定し、さらには安全保障関連法案を強行成立させ南スーダンへの自衛隊派遣を行いました。軍事費は年々増額され戦後最大となり、一方で社会保障は改悪の一途をたどっています。

また、先の臨時国会でのTPP批准や年金カット法の可決など、国民の生活より企業が潤うための政治を推し進めています。さらに1月20日に開会した第193回通常国会では、共謀罪の成立や、「働き方改革」という名で労働法制改悪がねらわれています。

そして、「企業が最も活躍しやすい国」にするには、排除すべき「岩盤規制」と見なされた農協に対し不要な改革を迫りながら、「自己改革」として合併や機構再編を求めています。

私たちは怒っています。

戦後70年積み上げた平和と民主主義を、国民の声を無視して破壊しようとするのを。

普通の生活がしたいと願いながら、体を酷使し家族を犠牲にしなければ生活できない社会を。

厳しい目標に苦しむ仲間、要員不足で残業が恒常的になっている仲間、子育てと仕事の両立の困難さに悩む仲間。様々な思いを抱えながらも、農家組合員や利用者に喜ばれたり感謝されたことをやりがいにして日々仕事をしています。

「忙しいから集まらない」と諦めず、「忙しいからこそ集まろう」を合言葉に、不安や不満、思いを仲間と共有しましょう。

将来不安の大きな要因となっている「農業・農協改革」について、企業のための「農業・農協改革」への総反撃を職場と地域から取り組みましょう。

同時に、「人間らしい生活」が送れる働き方と賃金、そして、女性が真に活躍できる働き方をめざし、職場の内外で進めていきましょう。

要求は、「誰かのもの」ではありません。要求は、自分の今と将来に関わる切実な思いの結晶です。

人間らしく生きていける社会の実現と、元気に働き続けられる職場づくりは乖離したものではありません。職場でのたたかいが必ず社会を変える大きな運動に結びつきます。

仲間の思いの詰まった要求をそれぞれの単組で高く掲げ、2017年春闘を単協・連合会・関連団体すべての仲間と連帯し、産別に結集してたたかいます。

2017年2月28日

全農協労連女性部